

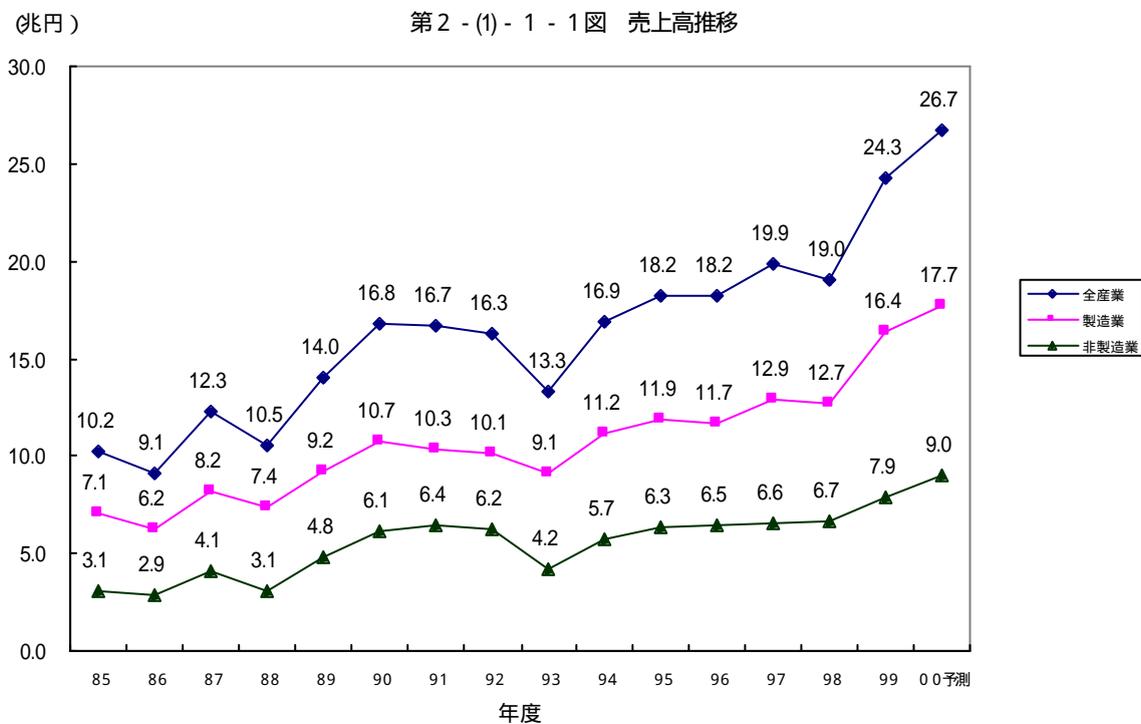
第2章 外資系企業の活動状況

(1) 売上高の状況

(1)-1 外資系企業の地位

集計企業の売上高は24兆3149億円

1. 99年度の集計企業の売上高は、全産業で24兆3149億円（前年度比27.8%増）を計上した。内訳をみると、製造業では16兆3817億円と同31.8%の増加となった。また、非製造業は7兆9332億円（同20.4%増）となった。（第2-(1)-1-1図）
2. 全法人企業の売上高に占める割合は、全産業で1.76%（前年度比0.38ポイント上昇）、製造業で4.14%（同0.93ポイント上昇）、非製造業で0.80%（同0.14ポイント上昇）であった（第2-(1)-1-1表）。
3. 1企業当たりの売上高をみると、全産業では161億円（前年度比17.0%増）となり、製造業（332億円 同21.3%増）は7年連続、非製造業（78億円 同9.9%増）は4年連続の増加となっている（第2-(1)-1-2図）。
4. 2000年度予測では、全産業で26兆6832億円（前年度比9.7%増）、製造業で17兆6778億円（同7.9%増）、非製造業で8兆9519億円（同12.8%増）となっている（第2-(1)-1-1図）。



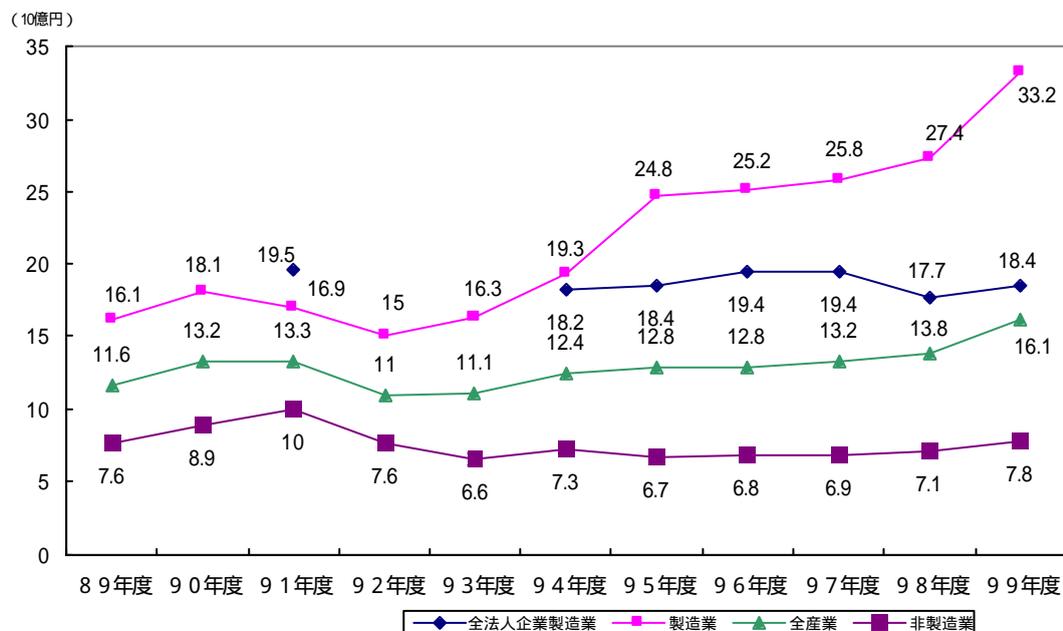
第2 - (1) - 1 - 1表 売上高の比較

(単位:千億円, %, ポイント)

			98年度(a)	99年度(b)	前年度比 b/a or b-a	
集計企業	全産業	A	190.2	243.1	127.8	
		製造業	B	124.3	163.8	131.8
			C	22.7	23.3	102.6
		非製造業	D	65.9	79.3	120.4
			E	57.4	67.8	118.1
			F	4.8	6.9	144.6
全法人企業	全産業	A'	13,813	13,835	100.2	
		製造業	B'	3,865	3,953	102.3
			C'	100	113	113.4
		非製造業	D'	9,948	9,882	99.3
			E'	5,425	5,505	101.5
			F'	1,655	1,675	101.2
構成比	A/A'		1.38	1.76	0.38	
	B/B'		3.22	4.14	0.93	
	C/C'		22.65	20.53	2.17	
	D/D'		0.66	0.80	0.14	
	E/E'		1.06	1.23	0.17	
	F/F'		0.29	0.41	0.12	

出典)全法人企業 法人企業統計(財務省)

第2 - (1) - 1 - 2図 1企業あたり売上高推移



(出典)全法人企業製造業:企業活動基本調査(経済産業省)

(1)-2 売上高の母国籍別業種別構成および外資生産比率

全般的に増加傾向

1. 売上高を母国籍別にみると、アメリカ系企業は、全産業で13兆5955億円(前年度比8.5%増)と売上げを伸ばした。地域別シェアでは55.9%となり、前年度(65.9%)と比べて10.0ポイント低下したが、引き続き大きなシェアを占めている。製造業(8兆9849億円)は前年度に比べ4.9%増加、非製造業(4兆6106億円)は同16.4%の増加となった。
アジア系企業は、全産業で1兆2452億円(同170.0%増)と大幅に増加した。業種別では製造業(487億円)が同260.7%増加となり、非製造業(1兆1965億円)が同167.3%増加となっている。
ヨーロッパ系企業は、全産業で9兆1947億円と前年度に比べ58.8%増加。製造業では7兆1748億円(同92.2%増)となったが、逆に非製造業では2兆199億円で同1.7%の微減であった(第2-(1)-2-1表)。
2. 1企業当たりの売上高をみると、アメリカ系企業(219億円)は、ヨーロッパ系企業(147億円)の1.5倍、アジア系企業(62億円)の3.5倍強の売上高を計上している(第2-(1)-2-1図)。
3. 製造業の売上高を業種別にみると、輸送機械が5兆6514億円(製造業に占めるシェア34.5%)を計上した。次いで電気機械が2兆9658億円(同18.1%)を計上し、以下、石油(2兆3286億円 同14.2%)、化学(1兆5273億円 同9.3%)、医薬品(1兆2325億円 同7.5%)、一般機械(1兆417億円 同6.4%)の順となっている。
非製造業の売上高を業種別にみると、商業(6兆7802億円)が8割以上のシェアを占めている。サービス業は6938億円(非製造業に占めるシェア8.7%)となっている(第2-(1)-2-2表)。
4. 99年度の外資生産比率^(注)は、4.1%と前年度に比べて1.1ポイント上昇した。2000年度の予測においては、4.4%とさらに上昇する見込みとなっている。外資生産比率を海外生産比率^(注)と比較すると、海外生産比率の3割強の水準となっている(第2-(1)-2-2図)。
5. 外資生産比率を業種別にみると、石油(20.5%)が最も高く、次いで輸送機械(10.9%)、化学(8.0%)、一般機械(3.9%)、電気機械(3.61%)、精密機械(3.58%)の順となっている(第2-(1)-2-3図)。

(注)・外資生産比率 = 集計企業製造業の売上高 / 全法人企業製造業の売上高 × 100

・海外生産比率 = 我が国企業の海外現地法人製造業の売上高 / 全法人企業製造業の売上高 × 100

[出典]全法人企業：法人企業統計(財務省)

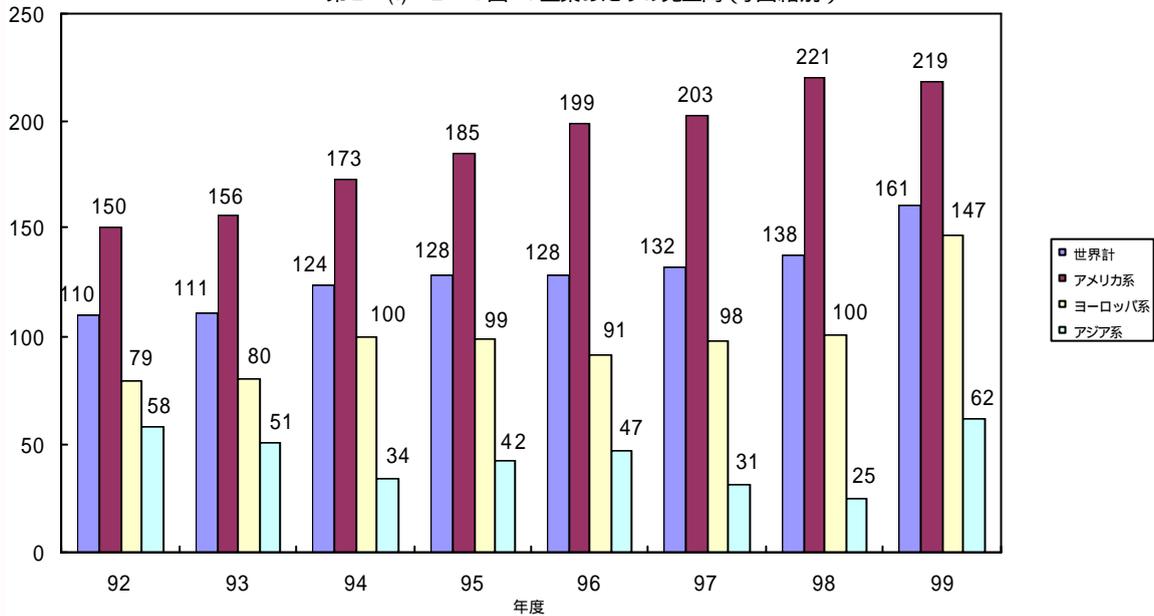
第2-(1)-2-1表 母国籍別売上高

(単位:億円、%)

	アメリカ系企業			アジア系企業			ヨーロッパ系企業			世界計		
	98年度	99年度	増減率	98年度	99年度	増減率	98年度	99年度	増減率	98年度	99年度	増減率
全産業	125,263	135,955	8.5	4,611	12,452	170.0	57,886	91,947	58.8	190,188	243,149	27.8
製造業	85,647	89,849	4.9	135	487	260.7	37,337	71,748	92.2	124,327	163,817	31.8
非製造業	39,616	46,106	16.4	4,476	11,965	167.3	20,549	20,199	1.7	65,861	79,332	20.5

(億円)

第2-(1)-2-1図 1企業あたりの売上高(母国籍別)



第2-(1)-2-2表 主要業種の売上高

(単位:億円%)

	アメリカ系			アジア系			ヨーロッパ系			世界計		世界計
	構成比	一社平均		構成比	一社平均		構成比	一社平均		構成比		
全産業	135,955	100.0	219	12,452	100.0	62	91,947	100.0	147	243,149	100.0	
製造業	89,849	66.1	371	487	3.9	22	71,748	78.0	338	163,817	67.4	製造業に占める構成比
食料品	6,692	4.9	608	x	x	x	x	x	x	7,056	2.9	4.3
繊維	x	x	x	31	0.2	8	450	0.5	90	504	0.2	0.3
化学	10,109	7.4	168	x	x	x	4,391	4.8	95	15,273	6.3	9.3
医薬品	3,379	2.5	483	-	-	-	8,674	9.4	434	12,325	5.1	7.5
石油	10,322	7.6	1,720	-	-	-	12,964	14.1	4,321	23,286	9.6	14.2
窯業土石	223	0.2	45	-	-	-	453	0.5	75	676	0.3	0.4
非鉄金属	1,544	1.1	154	x	x	x	13	0.0	6	1,988	0.8	1.2
一般機械	2,471	1.8	82	-	-	-	7,913	8.6	220	10,417	4.3	6.4
電気機械	27,034	19.9	563	329	2.6	55	2,243	2.4	112	29,658	12.2	18.1
輸送機械	23,815	17.5	1,588	-	-	-	32,699	35.6	1,635	56,514	23.2	34.5
精密機械	2,119	1.6	112	28	0.2	7	878	1.0	37	3,025	1.2	1.8
非製造業	46,106	33.9	121	11,965	96.1	67	20,199	22.0	49	79,332	32.6	非製造業に占める構成比
商業	38,341	28.2	165	10,840	87.1	79	17,767	19.3	55	67,802	27.9	85.5
サービス業	5,365	3.9	53	212	1.7	9	1,186	1.3	19	6,938	2.9	8.7

